

輝け！OKB516

470名+教職員46名

「一人一人が星のように輝き 笑顔あふれる大久保っ子」の実現に向けて

校長 山本 邦彦

新学期がスタートし、1か月が過ぎようとしています。新しい学年での学習や係や当番活動が本格化し、運動会に向けた練習や結団式が行われるなど、子供たちの生き生きと活動する姿がたくさん見られます。

4月26日（金）に全校児童が参加した児童総会が開かれました。各委員会の活動について話し合う中で、より主体的に児童会に関わったり、よりよい学校生活を送ったりしようとする意識を高めることがねらいです。児童会の目標「一人一人が星のように輝き 笑顔あふれる大久保っ子」が承認され、各委員会の委員長と副委員長が活動の目当てと内容を紹介した後、質疑応答が始まりました。始めは、「運動会の『スターター』とは何ですか。」「『ネイチャーゲーム』とは何ですか。」等、内容を詳しく知るための質問が多く出されました。その質問に対し、「走る時に『ビー』と鳴らす音です。」「花や木の葉を使ってビンゴをします。花や木の色も問題にします。」等、委員長が言葉を選びながら分かりやすく説明する様子に感心しました。協議が進むにつれて、質問が委員会活動の核心に関する内容に変わっていきました。「ボランティアでみんなに役に立つ活動を調べるだけなのですか。」「シャボネットをたくさん使った学年を表彰すると言いますが、わざと出す人もいるとどうするのですか。」なかなか返答に困る質問です。「調べたことを活動に加えていきます。」「シャボネットを出した時だけで、ないようにします。」等、今後の各委員会の活動内容を見直す返答となり、協議の内容に、またまた感心しました。まだまだ、質問や意見を求める手がたくさん挙がっていましたが、時間の都合で協議は終了。あっという間の15分間でした。

5・6年生は実際に委員会を企画・運営する立場であり、誰もがよりよい大久保小学校にしたいという思いをもっています。その思いは自分よがりではいけません。具体的に全校を動かすために本当にできる内容なのか、そもそも本当にみんなのためになっているのかを立ち止まって考える。児童総会は全校児童でその意識を確認することができた素敵な場でした。まずは、宣言したことを実行し、続けてみる。全校での取組には全員が協力する。もっとこうした方がよいと思う活動には意見を出し合ってみる。そして、お互いの活動の過程や成果を認め合う。これらは、本校が今年度も大切にしたい特別活動教育全てに共通することであり、「社会参画」「人間関係形成」「自己実現」の育成につながることを考えます。全校児童に宣言した5・6年生には、やり遂げる自信と責任を、共有した1～4年生には、協力する心を培ってほしいと思います。児童会の目標「一人一人が星のように輝き 笑顔あふれる大久保っ子」を目指して。子供たちの頑張りを励みに、教職員で力を合わせてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



白熱する児童総会の様子